

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校長 織田 龍美

学校住所 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

- 1 会の名称 岐阜本巣特別支援学校学校評議員会
- 2 会の構成 委員 高橋 武夫 もとす広域連合 療育医療施設幼児療育センター長
筑間 敦子 地域ボランティア、本巣小学校茶道講師
早川 忠利 西秋沢地区自治会長
松尾 綾子 本巣市本巣民生児童委員
真野 賢児 社会福祉法人あしたの会 どんぐり村福祉工場長
(委員名は五十音順)
学校側 臼井 美江子 P T A 会長
織田 龍美 校長
青木 咲子 教頭
高木 裕之 事務長
林 亨 小学部主事
坂口 浩之 中学部主事
児玉 芳廣 高等部主事
山内 明志 教務主任
大前 裕子 地域支援センター長
- 3 会の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。
- 4 会の開催 平成21年6月29日(月)午後1時～3時 岐阜本巣特別支援学校校長室
委員4人(松尾委員欠席)と学校側9人が出席
- 5 会の概要
(1) 開会挨拶と学校評議員の委嘱
(2) 授業参観及び施設見学
(3) 全体会議

高等部作業製品の価格について

意見1 提案された製品の価格は、すべて妥当なものである。

意見2 社会と関わることは大切なことであり、印刷紙工班のTシャツ注文や、環境衛生班の校外における清掃活動は、大事な活動である。

学校側 生物学に関する県予算がついたので、来年度から「バイオ班」を立ち上げるつもりである。今年度中に施設を整え、山県市のWSBバイオとも企業連携を図りながら、進めていく予定である。なお、原材料費、消耗品費など作業学習の予算のもとに活動しているので、各作業班の収益についてはすべて県に納める。

授業参観してのご意見や感想及び質疑応答

授業参観しての意見や感想

意見1 本当にみんな落ち着いている。特に小学部は落ち着いて子供達が取り組んでいる。先生

方の日頃の努力の賜物である。高等部の生徒も机に座って、一生懸命授業に取り組んでいる。素晴らしい姿だと思う。良いところばかりが目につく。私が関わった子供たちも、この学校で随分成長したと思う。

意見2 「早く早く」という言葉を、子育ての中で使いがちであるが、参観した授業や先生方の指導を見ていると、相手の行動を待って、じっくり育てることの大切さを痛感した。また、先ほどの作業製品の価格についてであるが、あまり低価格にすると、品質が悪いと判断されかねないので、遠慮せずに価格をつけていただければよい。

意見3 校内を初めて見せていただいたが、開校後わずかな期間で、ここまで充実していることに感激した。授業はどの先生も熱心で、障がい種毎に的確な指導がされていた。熱意をもって、しっかり指導されており、感心した。地域の人へも岐阜本巣の素晴らしさを報告したい。

意見4 子供も先生も落ち着いている。通路にある就業体験報告や教室前の掲示物等を読むと、学習がしっかりできていると感じる。学校全体が昨年度からさらに進化していると思う。

意見5 初めて他クラスの授業を見たが、どの子供達も大変落ち着いていると感じた。先生方が、一人一人の子供にあった指導をじっくり、ゆっくり行っている。先日、芝生プロジェクトやあじさいプロジェクトに参加したが、芝生もあじさいも根付いてきて大変うれしい。保護者も子供も、一緒に学校を創っていると実感できる。今後も地域の人との協力を得ながら、一緒に学校を創っていかれたらと思う。

質疑応答

意見1 学校を休む生徒はいないのか。また休む生徒の対応はどうしているか？

学校側 長期にわたって欠席している生徒は1～2人いるが、大半の者は元気に学校に通っている。義務教育ではない高等部においては、教育課程の違いから肢体不自由・病弱のクラスでは、単位制のため、ある時数を超えると授業の補充が必要となってくる。また、知的障がいのクラスでは、個々の状況に応じて別室授業や家庭訪問等を行い、個別にその都度対応している。

意見2 中学校で対応しきれなかった生徒、例えば長期欠席の生徒たちも入学しているのか？

学校側 何名か入学している。状況が改善された者もいれば、なかなか改善されずに現状のままの者もいるが、ケース会議等を開き対応を協議し、外部の力も借りながら、指導にあたっている。

意見3 高等部の生徒が、専門学校などへ行くケースはあるのか？

学校側 まだ卒業生は出していないが、専門学校なども進路先の対象となっている。生徒個々の才能が活かせるような進路先を考えて、進路支援をしている。

提言

意見1 新聞で、もとすファームと連携している記事を読んだが、これからも地域と密接に連携を取っていただきたい。この辺りは柿畑が多いので、そういったものも利用していただくとよい。来年度はスクールバスが1台増えると聞いたが、大変喜ばしいことだ。少しでも保護者の負担が軽くなることを行ってほしい。

意見2 環境衛生班の校外での清掃活動は、周知すれば多くの人から依頼があると思う。私の住んでいる地区は、独居老人が多く、屋敷も広い。ある拠点まで生徒を車で送っていき、そこから徒歩で各家庭へ出向くというのも一つの方法である。

意見3 本巣市はボランティア活動が盛んであると聞いたが、私たち岐阜市民もできることは協力していきたい。私たちの地区は、岐阜本巣から30分以内の家が多いので、清掃活動の場所が提供できるように、みんなに呼びかけていきたい。

意見4 子供達、一人一人の可能性を引き出すことを考えることは、楽しいことである。作業製品作りや、あじさい・芝生プロジェクトの活動等は、実に楽しい。卒業後は、私の所も進路先の一つになるし、就業体験でも大いに利用していただければ良い。

6 会のまとめ

評議員の方々には、授業参観を通して本校の児童生徒の実態を見ていただき、その後貴重な御提言をいただいた。今後も御相談させていただきながら、当校の教育が社会で認知され、さらに充実できるよう手助けをしていただければ幸いである。